※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	高校世界史（山川出版社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を把握する。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会の特質を広い視野から理解する能力と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代史と中世史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究する	古代や中世世界の諸課題を歴史的観点から考察し、歴史社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	古代や中世史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	古代や中世史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史へのいざない	・先史の世界 ・オリエントと地中海世界	○	○	○	○	a:自然環境と歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	ワークシート
	ユーラシアの諸文明と交流	・アジア・アメリカの古代文明 ・東アジア・内陸アジアの動向と諸地域	○	○	○	○	a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質と、ユーラシアの交流について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸文明と交流の特質を見いだし、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシア各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム帝国の成立 ・イスラーム世界の発展 ・イスラーム化の進展 ・イスラーム文明の発展	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	a:イスラーム世界の歴史について、成立過程、発展過程、その間におけるヨーロッパとの軋轢などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:イスラーム世界の進展とその拡張、その承継の過程をめぐる動き、イスラーム諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

後期	ヨーロッパ世界の形成と発展	・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	○	a:西欧世界の様子について、社会の変化と新たな東欧社会の成立、ヨーロッパのキリスト教社会の変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ローマ世界以降のヨーロッパ諸地域世界の変貌の特質を見いだし、イスラーム世界とキリスト教世界、十字軍との関連付けで、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:ローマ世界の変容以降のヨーロッパ諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ローマ世界以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄をイスラーム社会と関連づけて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・トルコ化とイスラーム化の進展 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・インド・東アジア世界の展開	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:10 世紀前半から 19 世紀初頭にみられた東アジア社会の急激な変化に関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:東アジア社会の急激な変化の具体的な様相や、アジア諸地域について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アジア地域の特質、漢民族や周辺民族との関係などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:東西交流の歴史を通してモンゴル、明、清時代の基本的な事柄や、内陸アジア地域のそれぞれの特色について基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。